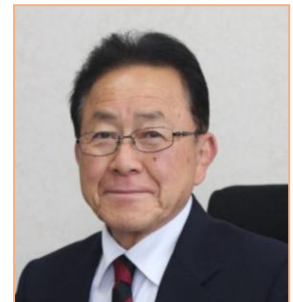


わたしのすきな絵本

「今月の一冊 ～わたしのすきな絵本～」(11月)

<ご紹介者>

矢祭町長 佐川 正一郎
矢祭町子ども読書の街づくり推進委員会委員長



『ひみつのビクビク』

フランチェスカ・サンナ 作 / なかがわちひろ 訳
／あかつき教育図書
対象年齢：小学校低学年から



深く考えさせられる絵本だと思う。
紹介するのにどの様に書いていいか考えました。
人間成長して行く中で家庭生活、学校生活、社会生活において様々な体験をしながら人生に関わってきます。
このビクビクは、子ども達や大人でも、心の中に居ます。心配や不安などない人はありません。子ども達には是非読んでいただきたい絵本です。
体験しながら成長していく子ども達を見守ってほしいと思います。

内容のご紹介

ちいさなビクビクはわたしだけのひみつのともだち。ビクビクはいつもそばにいて、わたしをまもってくれる。だから、わたしはほんとうには、こわいめにあわないし、ちょっとずつぼうけんをして、つよくなれる。でも、このくににひっこしてきたら、ビクビクはきゆうにおおきくなった……。

どんどん大きくなったビクビクは、女の子の睡眠や食事、学校での毎日を邪魔するようになりました。でも、一人の男の子と一緒に過ごすことで少しずつ変わっていく女の子の学校生活。みんな、自分のビクビクを持っていることに気づくのです。

参考文献:あかつき教育図書 紹介文 (矢祭もったいない図書館)